



石川畳店 (四日市市中部)

☎059・352・5657

・1912年創業、従業員1人

・畳の製造、販売

日本文化を伝えたいと、

公民館などで四日市市在住の外国人に畳の作り方を教えている。製作するのは約

20^{センチ}四方のミニ畳で、石川淳二社長(33)「写真」は「花瓶の下敷きや写真立て

健康意識した

住環境を提供

に利用されているようにです」と話す。今年3月、桑名

市内の商店街を視察に訪

れた米国・ハーバード大学院生らにもプレゼントした。

外国人相手の土産物店に置いてもらおうと、旅行会社

わが街企業ファイル

も声をかけている。15^{センチ}と20^{センチ}四方2種類に、畳の歴史も添えたセットで販売する計画だ。

い草が材料の畳表は、80%が安価な中国産と言う石川社長だが、い草を無農薬、減農薬で育てている熊本県の農家とも契約している。

「幼児が畳をなめたり、ほおをついたりしても安心できる。健康を意識している親御さんが増えている。

次世代の子どもたちに住みよい住環境を提供したい。それが私たち大人の責任です」と石川社長は力を込めた。(南条哲治)